

[粕屋演習林]A. 林木の育種に関する研究 : 3. ヒノキ 属オープン種子の採集量について

柳池, 一馬
九州大学農学部附属演習林 : 林業手

宮島, 寛
九州大学農学部附属演習林 : 教授

宮崎, 安貞
九州大学農学部附属演習林 : 講師

<https://doi.org/10.15017/1458315>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和45年度, pp.49-51, 1971. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



オキノヤマ、ムマイ、イトシロの天然林3地域間では、わん曲度が1%の水準で有意であつた。オキノヤマスギは、わん曲度が表-5に示すとおりわん曲度8から50まで出現し、その平均は13.55で他の天然林に比べるといちじるしく高い値を示した。高いわん曲度は針葉の曲りが小さく直線型に近いことを示す。これに対してムマイ、イトシロではわん曲度4から最高22どまりであるから、これらの天然林の針葉は相対的に曲りが大きいといえよう。オキノヤマスギの針葉の第2の特徴は岐出角度が14度から50度までと変異の幅が大きいことである。表-3に示されるように、オキノヤマスギは針葉の軸への着き方が比較的横に平たく出る傾向があるといえよう。

なお、精しい分析は目下継続しつつあるところで、ここではおおよその途中経過を報告するにとどめることとする。

3 ヒノキ属オープン種子の採集量について

宮島 寛・宮崎安貞・柳池一馬

採集したヒノキ属母樹は、まず九大粕屋演習林林木育種試験地内に設定されているヒノキ・クローン集植地から34クローンで、そのなかには1966年4月に九州林木育種場から分譲されたヒノキ精英樹26クローン、同じくナンゴウヒ1クローンおよび粕演内で個体選抜された7クローンが含まれている。これらに粕演生ケ谷のナンゴウヒ2林分および同飯盛に生育しているナンゴウヒ1林分の計3林分のナンゴウヒが加えられている。さらに、サワラの種子を採集した。

結果および考察

1. ヒノキ精英樹の最近3カ年の種子豊凶性

ヒノキ精英樹12クローンおよび粕演ヒノキ1クローン計13クローンについて、最近3年間の採種量をグラム単位で示すと表-1のとおりである。

表-1から判ることは、昭和43、45両年度が豊年に当つて、昭和44年度が不作の年と考えられることである。すなわち昭和45年度は前年比366%の種子が採集された。しかしながら、母樹別に精しくみてみると、採種量は昭和45年度において前年度よりも豊作となつた母樹は供試13クローン中10クローンで、逆に不作となつた母樹は3クローンを数えている。このように、3年間の種子採集量のパターンが凹型(中央年度が不作を示す)を示す系統と反対に凸型ないし漸増・減型を示す不安定な系統があるのではないかと考えられる。精しいことは、今後の研究にまちたい。

表一 1 ヒノキ精英樹の昭和43～45年度における採集量(採種日:毎年10月20日)

クローン名	S.43年	S.44年	S.45年	豊凶タイプ
遠賀1号	15g	0.5g	108g	凹型
嘉穂5号	200	1	199	凹型
始良25号	95	31	6	漸減型
" 27号	25	2	10	凹型
" 40号	25	6	116	凹型
中津9号	8	63	86	漸増型
" 10号	22	273	250	凸型
" 11号	480	5	232	凹型
久原1号(下)	37	4	204	凹型
藤津2号	125	25	224	凹型
長崎1号	110	10	153	凹型
国東18号	74	9	3	漸減型
大分7号	73	9	178	凹型
計	1,289g	483.5g	1,769g	

2. ヒノキ母樹別採種量

昭和45年度のヒノキ属母樹別採種量は表一2に示すとおりである。

表一2 ヒノキ属母樹別採種量

(昭和45年度) 単位グラム

番号	クローン名	採種量	番号	クローン名	採種量
1	遠賀1号	108	10	藤津2号	224
2	嘉穂5号	199	11	長崎1号	153
3	始良25号	6	12	国東18号	3
4	" 27号	10	13	大分7号	178
5	" 40号	116	14	宇和島2号	153
6	中津9号	86	15	" 3号	178
7	" 10号	250	16	神埼4号	263
8	" 11号	232	17	大正1号	60
9	久原1号	204	18	" 1号	17

番 号	クローン名	採種量
19	粕 演 12号	214
20	中 村 1号	47
21	須 崎 2号	88
22	箱 根 3号	38
23	舞 鶴 1号	2
24	粕 演 8号	1
25	〃 10-3	5
26	〃 55-1-4	0.5
27	〃 9-10	30
28	〃 15号	3
29	鬼 泪 7号	0.5

番 号	クローン名	採種量
30	宿 毛 2号	82
31	富 士 2号	1
32	塩 谷 1号	9
33	宇都宮 1号	5
34	ナンゴウヒ(育種)	13
35	〃 (生ケ谷)	12
36	〃 (飯盛)	7
37	〃 (大曲)	27
38	サワラ	123
	計	3,147g

これらのヒノキ属種子は、種子保存用冷蔵庫内に5℃で保存し、昭和46年度以降の教育、研究用材料としている。なお、これらの種子のうち若干のものはすでにまき付けられている。

4 スギ在来品種その他の採種量

宮 島 寛・宮崎安貞・柳池一馬

昭和45年10月下旬に生ケ谷スギ採種林に生育しているスギ在来品種および育成品種14種からスギ種子を採集した。品種別の採種量は表-1のとおりである。

表-1 スギ品種別採種量

品 種 名	S.45年度分数量(g)	品 種 名	S.45年度分数量(g)
モ ト エ	80	ヤブクグリ	32
クモトオシ	72	キウラボ	51
アカバ	4	ナカマA	28
シチゾウ	17	ウラセバル	37
ヤマグチ	20	キジシ	53
コバノウラセバル	40	イワオ	45
ヒノデ	44		
ナガエダ	17	計	540g